

H29 アクションプランシート 事業 No.38

①事業の基礎情報

事業名	認知症サポーター養成事業				担当部・グループ名	福祉部 保健福祉グループ					
実施期間	平成 26 年度～平成 29 年度				担当 GL 氏名	磯村 和志					
新規・継続の別	継続事業				電話番号(内線)	52-9871(内線 80-120)					
総合計画(基本計画)体系	個別目標	(10)一人ひとりを認め合い、その人らしく暮らせるまちづくりを進めます				予算・事業上の 予 算 書 上 の 事 業 名	款	介護特会 4款 地域支援事業費			
	こんなことに取り組みます	地域福祉に対する理解を広め、困りごとを抱える方の支援などを行うボランティアの発掘・養成や、継続的に活動できる場を創出します。					項	3項 包括的支援事業・任意事業費			
	みんなで目指すまちづくり 指標名	認知症サポーターの人数					目	1目 総合相談事業費			
	現状値 (H25)	2843	実績値 (H26)	4,931	実績値 (H27)		5,654	実績値 (H28)	目標値 (H29)	6,650	(単位) 人
						事業名	1 地域包括支援センター運営事業				
						総合戦略	■該当する □該当しない				

②事業の概要

P L A N	目的 (何をどうするために)	★平成 29 年度には、高齢者人口のおよそ 15%が認知症になると推計されており、高浜市の人口に当てはめると 1,330 人になる。このため、毎年 500 人の認知症サポーターを新たに養成し、認知症高齢者 1 人に対して 5 人のサポーターが見守る環境をつくりあげるため。									
	対象 (誰・何を対象に)	市職員全員、小学校児童、地域住民、スーパー・金融機関等従事者等							対象の数量		
	最終目標 (どのような状態を目指すのか最終的に何がどうなれば達成か)		☆認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域でより良い環境で暮らし続けている。 ☆認知症だけでなく、援助を必要とする人を見守る土壌が熟成されている。								
	平成 28 年度の取組み		目標の達成に向けて、何を・どのように・どうした (内容)							いつ	
D O			①キャラバンメイト連絡協議会開催、認知症サポーターを養成するための具体的な計画、今後の進め方について協議した。							H28.6	
			②認知症サポーター養成研修を実施した。 (吉浜公民館祭、高浜高校、刈谷豊田総合病院高浜分院)							H28.8~10	
C H E C K	これまでの取組みから見てきた課題		◇認知症を正しく理解し、手助けを行うサポーターを増やしていくため、学校や市内企業に働きかけを行っていく。								
	今後の取組みの方向性		◇サポーターを計画的に養成するために欠かせない、キャラバンメイト同士が交流し、情報交換を行う場が必要である。キャラバンメイト相互の情報共有の場としてキャラバンメイト連絡会を開催する。また、必要時にはスキルアップ研修を実施していく。								
備考											

基本目標	Ⅳ いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう
------	----------------------------

③事業の工程表 / ④事業にかかる事業費概要

事業年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
事業計画	小学校等を対象とした養成研修の実施	小学校等を対象とした養成研修の実施	小学校等を対象とした養成研修の実施	小学校等を対象とした養成研修の実施
	スーパー、金融機関、地域住民を対象とした養成研修の実施	スーパー、金融機関、地域住民を対象とした養成研修の実施	スーパー、金融機関、地域住民を対象とした養成研修の実施	スーパー、金融機関、地域住民を対象とした養成研修の実施
	キャラバンメイトの育成及び資質向上のための継続的な研修の実施	キャラバンメイトの育成及び資質向上のための継続的な研修の実施	キャラバンメイトの育成及び資質向上のための継続的な研修の実施	キャラバンメイトの育成及び資質向上のための継続的な研修の実施

平成 29 年度のアクション（平成 29 年度は何をするのか？）

A C T I O N	いつまでに（期限）	課題の解決に向けて、何を・どのように・どうする（内容）
	H30.3	①小学校区を単位としたサポーター養成研修を実施する。
	H30.3	②小学校区を単位とした地区担当グループと企業グループによるキャラバンメイト連絡協議会を開催し、計画的なサポーターの養成を図る。
	参画・協働・情報共有の工夫	★まちづくり協議会の事業として、認知症サポーター養成を行っている地域を参考に今後、市内全域に拡大できるように取り組む。

事業年度		平成 26 年度（実績）	平成 27 年度（実績）	平成 28 年度（当初）	平成 29 年度（当初）	
事業費総額（千円）		40	77	75	56	
財源内訳	一般財源	40	77	75	56	
	特定財源	国・県支出金	—	—	—	—
		その他	—	—	—	—
補助事業・単独事業の別		補助事業	補助事業	補助事業	補助事業	

⑤事業にかかる事業費積算基礎

平成 29 年度	・消耗品費 56 千円
特記事項 （実施期間を通じて）	